

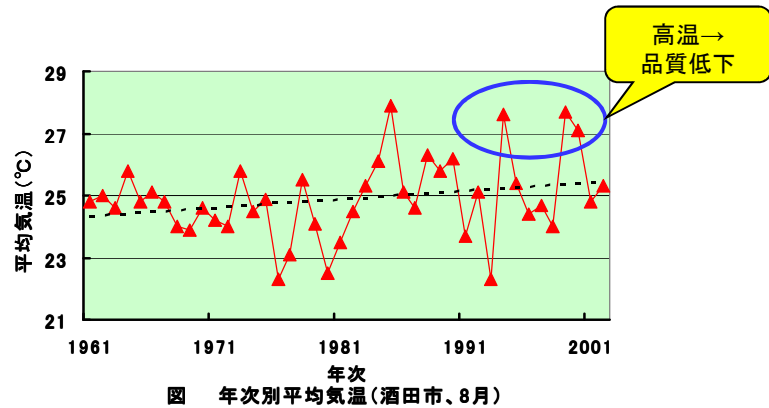
受験生の皆さんへ

『 気象変動に負けない作物生産 』

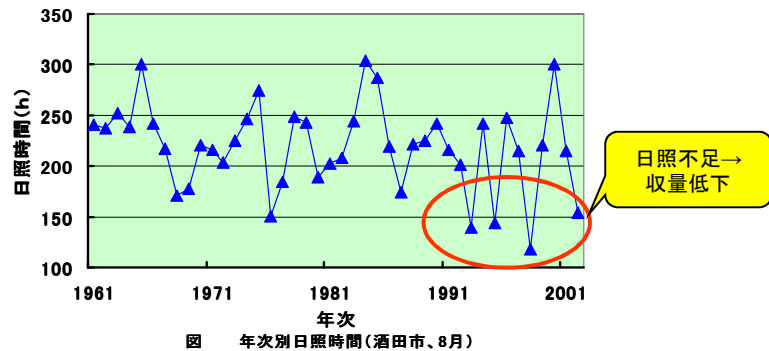
山形大学農学部安全農産物生産学コース

教授 藤井 弘志 (FUJII, Hiroshi)

品質低下の原因①水分ストレス⇒生成するデンプン量の減少②夜温高い⇒呼吸⇒デンプンの消耗③籾数過剰⇒デンプン分配不十分



収量低下の原因 ①日照不足⇒生成するデンプン量の減少、②籾数過剰⇒籾へのデンプン分配が不十分



内容;

21世紀の農業に関するキーワードは、①人口爆発、②耕地面積の減少、③地球温暖化の進行等があげられ、21世紀は「食料生産」と「環境保全」の世紀と言えます。

このキーワードから推測すると、近い将来の食糧不足が懸念されます。食糧の安定生産には、気象変動(高温、日照不足、低温、台風)に負けない作物生産を可能にする技術の開発と普及が重要です。そのような視点から、様々な研究機関との共同研究を進めながら、「全天候型作物生産技術」の開発を行っています。

受験生の皆さん、「作物生産、気象変動等」に興味のある方は、一緒に研究しましょう。お待ちしております。

専門;作物学

自己紹介;みんなの力で新たな技術開発を。

連絡先;0235-28-2932

e-mail:hfuji@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

